

発行元
osTec EXHIBITION HALL
大阪科学技術館
 〒550-0004 大阪市西区新町1丁目8番4号
 TEL.06 (6441) 0915 FAX.06 (6443) 5310
 http://www.ostec.or.jp/pop/

テクノくんが行く! 出展者訪問



独立行政法人 国際協力機構



てくてくテクノ新聞

vol. 43

インドの東にあるバングラーデシュでは近年首都ダッカに人が集まり、経済が発展するとともに自動車が爆発、交通渋滞や大気汚染が大問題だ。だからそれらを解決するため、高速バスや都市鉄道などの大量輸送交通システムの整備が必要なんだ。私たちはバスや鉄道

ばいになるから、新しいごみ処分場をつくるか、ごみ置き場を急いで広げる必要があると分かったんだ。今まで通りじゃダメだと、考える機会にもなったんだね。



朝のバス停に先が見えないほどの列。なんとかしたい

など違う会社の乗り物を、ICOCAやPiitapaなどのICカード一枚で乗れて便利だね。それには運賃などの様々な仕組みをつくって、ICカード読み取り機をバスや鉄道駅につけ、ICカードを発行して、その利用者の個人情報も守らないといけない。これには日本の交通IC-T(情報通信技術)が必要なんだ。ICカードがあれば移動が便利になったり、運賃のまちがいがなくなるのももちろん、宗教の教えで家族以外の男性と手を触れてはいけない女性が運転手に運賃を渡すときに手が触れる心配がなくなるんだ。安心

して公共交通を利用できることで、外で働く女性が増えたり、社会まで変わっていきそうだ。コロナ禍で人と人との接触を避けた方がいい今、この国が日本のようにICカードで買い物までできるようになる日も遠くないかもね。



ICカードをかざすだけでスムーズに乗り降り

日本の技術が世界を豊かに

JICAの協力や支援で日本の技術や知識が、私たちの知らないような、支援を必要としている世界中の国々の社会や人々の暮らしを豊かにしているんだね。



バス運転者のICカード勉強会も開く

提供：片平エンジニアリング・インターナショナル

こんなところに日本の技術

世界の暮らしを豊かにする日本の協力



ドローンによる測量作業(ミクロネシア連邦コスラエ州)



直上から見たごみ処分場(パラオ)



提供：国際航業



数百枚の写真からつくった3Dモデル(マジュロ島)

世界には、様々な支援を必要としている国がたくさんあるんだ。そんな国々からの声を聞いて、豊かな国造りに協力しているのが、日本の独立行政法人国際協力機構(JICA)だ。

世界150か国ほどで、その国や別の協力機関といっしょに、国造りを手伝っているんだ。まず、困っている問題をなくすための計画を考えて、必要な知識や技術を持った専門家をそろえて、道具や材料の場所も用意して、問題解決のプ

難しい調査はドローンを使って

プロジェクトを実施するんだって！ 専門家を送って、現地でお手伝いする他にも、逆に技術を学んでもらうために外国人を日本に招いたりするんだ。学校・病院などの建物や、道路や空港・港などをつくるために協力したり、他にもまだまだたくさん。

じゃあ、みんなが知っているもの協力例を紹介するよ。

独立行政法人国際協力機構って、こんな組織

JICA(ジャイカ)は「開発途上国」の「困っていること」の解決に向け、国際協力を行っています。例えば、安全な水が得られなかったり、学校や病院などが十分でない国が沢山あります。また、気候変動や感染症のように、開発途上国だけでなく、日本を含む世界中の国々に共通する課題もたくさんあります。開発途上国と日本は大切なパートナーであり、JICAは様々な課題の解決を通じて国造りを支援しています。

(※写真はJICA関西)

〒651-0073
 兵庫県神戸市中央区
 脇浜海岸通1-5-2
 TEL.078-261-0341(代表)
 https://www.jica.go.jp

